

# みんなのひろば

まちの話題を紹介します



瓦葺き職人の技術向上を目的に、京都府瓦技能士会主催の大会がスパーク園部（屋内ゲートボール場）で開催。大雪に見舞われ寒い日でしたが、京都府知事認定2級かわらぶき技能士3人が4時間半の規定時間で競技課題に挑みました。審査員に何うと「正確さや仕上げの美しさ、手順のほか、片付けにも職人の考え方が出る」とのこと。出場したムラタ瓦の堀内敬太さんは「競技会では電動ドリル以外の電動工具が使えないので、時間内での作業配分が難しかった。普段どおり瓦を汚さず仕様書どおりの施工を心掛けました」と6年間の修業の成果を発揮されていました。



▲審査員は作業過程にも厳しく目を光らせます

（1 / 16）  
第30回瓦葺き技能競技大会

## 「伝統の技を受け継ぐ若手職人の力」



▲木のつるでターザン遊びを楽しむ（1/15）

自然体験を通じて創造的な子育て支援活動を行う「里山ファーム～葉んぐり～」を全5回（11月23日～3月5日）開催。自然環境の保全や子どもの健全育成に取り組まれている「森林・環境ネットワーク」の指導の下、八木町船枝の農場などで活動しました。第1回は、活動で使用する葉の形の皿を作成。第3回の1月15日には、柳の枝木をドームに見立てた植樹や納豆づくりを体験しました。参加した児童は「葉の形のお皿がきれいに焼き上がりうれしかった」「柳の木が大きくなってドームになるのが楽しみ」と自然と親しむ楽しさを話してくれました。

## 「自分で考え楽しく遊ぶ自然は友達」

（11 / 23）  
1 / 15  
自然体験活動事業「里山ファーム」



▲氷室の郷「草木工房」で皿を作成（11/23）

## 「雪にまみれる笑顔 美山の冬を大満喫」

（2 / 6）  
美山雪まつり



▲熱戦が繰り広げられたそり引き競争で感動のゴール

美山町自然文化村主催の美山雪まつりが3年ぶりに開かれ、大阪や京都などから訪れた家族連れらが、巨大すべり台でのそり遊びや、そり引き競争、スノーシュー体験など多彩なプログラムを満喫しました。雪像コンテストでは、グループごとにキティちゃんやプーさんなどアイデアいっぱいの雪像が完成。スノーフラッグスでは、子どもより大人の方が雪に足を取られ、雪まみれになる選手が続出。観客の笑顔があふれました。いのししラーメンや鹿肉カレーなどのあったか屋台も好評でした。